



第29回全国健康福祉祭ながさき大会  
**ねんいんピック長崎2016** 平成28年10月15日(土)～18日(火)  
 長崎でひらけ長寿の夢・みらい

**審査した案件と結果**

<b>知事提出の議案</b>	<b>議員等提出の案件</b>
・予算 4件(可決)	・議員派遣 1件(可決)
・条例 11件(可決)	・発議 2件(可決)
・事件 22件(可決)	・意見書 7件(可決)
・計画 2件(可決)	
・人事 2件(同意)	<b>請願</b>
・認定 3件	2件(不採択)

(9月定例会からの継続審査)

**可決された意見書**

- 九州新幹線西九州ルート(長崎ルート)の整備促進に関する意見書
- マイナンバー制度の円滑な運営に係る財源確保等自治体の負担軽減を求める意見書
- 夜間中学の整備と拡充を求める意見書
- 国民医療を守るための適切な財源確保に関する意見書
- ブラッドパッチ療法の保険適用および脳脊髄液減少症の治療推進を求める意見書
- 水産業振興のための基盤整備の推進と安全操業の確保に関する意見書
- 森林吸収源対策の財源確保を求める意見書



**平成27年10月臨時会が開催され、11月定例会にて、活発な論議が交わされました。**

平成27年10月臨時会が10月23日に開かれ、議長から議員辞職の許可を報告後、文教厚生委員会の委員長及び副委員長の選任並びに議会運営委員会委員の選任を決定し閉会しました。また11月定例会は、11月25日から12月1日まで開かれ、開会日は、継続審査となっていた平成26年度長崎県一般会計決算及び特別会計決算の認定についてなど3件の議案を認定しました。

また、平成27年度長崎県一般会計補正予算(第3号)など41件の議案が提出され、中村知事が県政の重要事項について報告し、当面する諸課題について所信を述べるとともに、提出議案について提案理由の説明を行いました。

一般質問では、12名の議員が登壇し、新たな行政改革、県民所得向上対策、高齢者対策、人口減少対策、世界遺産登録の推進、道路行政など、さまざまな事項について活発な論議が交わされました。

補正予算については、職員給与関係既定予算の過不足の調整その他緊急を要する経費について編成され、一般会計で1億792万2千円の増額、特別会計で1億40万4千円の減額、企業会計で55万2千円の増額補正となりました。

また、議員提案の議案として、長崎県産酒による乾杯の推進に関する条例が提出され、これらを含めて、本定例会では47件の議案を原案のとおり可決・同意・認定するとともに九州新幹線西九州ルート(長崎ルート)の整備促進に関する意見書など7件の意見書を可決しました。

**常任委員会**

**総務委員会** 委員長/山本 啓介  
 【質問】長崎の教会群とキリスト教関連遺産基金の目標額3億円について、民間団体等からの寄付をいつまでに集めようとしているのか。また、どういった団体に呼びかけをするのか。  
 【答弁】寄付への理解をいただきやすい登録前後の時期を一つの目標として積み立てを行いたいと考えている。また、寄付については、世界遺産関係を目的としたふるさと納税のほか、現在寄付をいただいている企業をはじめ、広く経済界にもお願いをしていきたい。  
 【主な論議事項】長崎県総合計画チャレンジ2020について/長崎港におけるクルーズ客船の入港受付の対応について/九州新幹線西九州ルート(長崎ルート)について 等

**文教厚生委員会** 委員長/山本 由夫  
 【質問】特別支援学校において、職業学科の改編に向けた研究が進められているが、具体的にはどのように進んでいるのか。  
 【答弁】虹の原特別支援学校においては、職業サービス科(仮称)を設置し、また、希望が丘高等特別支援学校においては、普通科を廃止し、生活技術科と産業流通科(ともに仮称)に移行して、食品加工、接客、物流、福祉等、時代のニーズに応じた職業教育に取り組んでいきたいと考えている。  
 【主な論議事項】魅力ある私立学校づくりの推進について/貧困に起因する問題を抱える子どもと親への支援について/看護師の人材確保について/長崎県子どもの貧困対策推進方針(案)について/私立学校の耐震化について/長崎県福祉保健総合計画(案)について 等

**環境生活委員会** 委員長/西川 克己  
 【質問】長崎港におけるクルーズ客船の入港受付の対応について、受付窓口である港湾漁港事務所において、SOLAS条約(海上における人命の安全のための国際条約)に基づく警備員の配置ができないとの判断から予約を断ったのは何隻か。また、予約を断るような状態は、いつ頃から生じていたのか。  
 【答弁】現体制では勤務条件が難しいと現場で判断し、H27年の予約について9隻、H28年の予約については7隻を断っていた。このような状況が発生したのは、H27年の7月頃、H28年の入港予約が200隻を超えたあたりからである。  
 【主な論議事項】石木ダムについて/県営バス長崎ターミナル機能の移転について 等

**農水経済委員会** 委員長/前田 哲也  
 【質問】現在の総合計画で、海面漁業生産量(魚獲量)の目標を30万トンに設定していたが、実際にはH26年で約24万トンと、目標に6万トンほど不足しているが、原因をどのように分析し、新しい総合計画の数値目標設定にどう活かしているのか。  
 【答弁】新しい漁獲量の数値目標は、沖合、沿岸漁業等部門ごとの漁獲量の趨勢値(すうせい値)を基礎に、マウンド魚礁整備など環境整備による増産分などを加味し、H32年に25万4千トンを目指し、さらに、海区別にも目標数値を設定しており、状況を検証しながら、目標達成にむけて取り組んでいく。  
 【主な論議事項】新規漁業就業数者の目標について/新ながさき農林業・農村活性化計画について/有畜鳥獣対策について 等

**予算決算委員会** 委員長/徳永 達也  
 【質問】ゼロ国債の設定により単独事業の一部について、前倒し工事発注を行い、議決期の事業量確保など、発注の平準化を図ることなどが、国の事業も含まれた公共事業全体の平準化が図れないのか。  
 【答弁】ゼロ国債は、本定例会の県議会議決を経て、1月からも工事発注が可能であるが、ゼロ国債は、県議会への提案が2月となり、工事発注は議決後の3月となる。国も、発注平準化方針を出しているため、国の事業を活用し、不足部分は県単独事業で実施していきたい。  
 【主な論議事項】平成27年度長崎県一般会計補正予算(第3号)について/長崎県立佐世保青少年の天地、長崎県立千々石青少年自然の家及び長崎県立世知原青少年自然の家管理運営費について/プロフェッショナル人材戦略拠点事業費について 等

**原子力防災対策について** 吉村 庄二 (佐世保市/北松浦郡/改革21)  
 【質問】政府は、原子力施設で事故が起きた際に住民が避難を実施するための判断基準を、毎時100マイクロシーベルト以上から毎時5マイクロシーベルト以上に引き下げたが、県の地域防災計画はどのようにするの。  
 【答弁】県はこれまで原子力施設対策の見直しについて、政府に要望を安心して行っており、地域住民の安全を安心に確保する観点から、屋内避難などの緊急対応範囲の見直しが行われた場合には、その内容に応じて地域防災計画の見直しを行う。

**陶磁器産業の振興と陶芸技術の文化財指定について** 坂本 智徳 (対馬市/自由民主党/活正の会)  
 【質問】将来、波佐見焼や三川内焼に人間国宝のような著名な陶芸家が輩出されれば、来客が増えるのではないか。陶芸技術にかかると地元市町教育委員会との協賛状況について、お尋ねしたい。  
 【答弁】県指定の無形文化財保持者は、現在、三川内焼の1名だけであるが、新たな認定の相談を受けて、地元市町教育委員会、調査会と連携して取り組んでいきたい。

**九州新幹線西九州ルートの早期完成への取り組みについて** 八江 利春 (諫早市/自由民主党/活正の会)  
 【質問】将来、波佐見焼や三川内焼に人間国宝のような著名な陶芸家が輩出されれば、来客が増えるのではないか。陶芸技術にかかると地元市町教育委員会との協賛状況について、お尋ねしたい。  
 【答弁】県指定の無形文化財保持者は、現在、三川内焼の1名だけであるが、新たな認定の相談を受けて、地元市町教育委員会、調査会と連携して取り組んでいきたい。

**世界遺産登録について** 外間 雅広 (佐世保市/北松浦郡/自由民主党/活正の会)  
 【質問】世界遺産候補地の長崎の教会群の構成資産保全のための基金を創設することだが、修復計画のある佐世保市の黒島天主堂の場合、実際にどれだけの所有者の負担が軽減されるのか。  
 【答弁】黒島天主堂は、調査の結果、耐震及び修復工事が必要であり、約5億3千万円の事業費が見込まれている。そのうち、国・県・市からの補助を除いた約1億5千万円が所有者負担となるが、基金による支援ができれば、約2千7百万円の負担軽減となる。

**安心して出産できる環境づくりについて** 前田 哲也 (長崎市/自由民主党/活正の会)  
 【質問】県内2カ所目となる長崎大学病院の総合周産期母子医療センター構想の進捗状況等について知事の所見を伺いたい。  
 【答弁】長崎大学病院への設置が対応を協議してきたが、専門家の対応部会においてセンター設置が必要との意見をいただき、設置工事について、大学病院内で調整中である。周産期医療の充実は大変重要であり、まちは、このこと生総合戦略の中でも推進していく。大学病院の計画には必要な支援を検討したい。

**道路行政について** 山口 経正 (西彼杵郡/自由民主党/活正の会)  
 【質問】長崎市北部から時津町周辺の国道206号においては、交通渋滞が日常的に発生してあり、慢性化している。対策として国道206号の複線化が考えられるが、西彼杵道路と長崎南北幹線道路の現在の進捗状況、今後の見通しについて伺いたい。  
 【答弁】西彼杵道路については平成26年度、時津工区を事業化し、現在用地取得を進めつつ一部で工事に着手している。長崎南北幹線道路については、事業化に向けての課題整理を行っている。

**TPPの影響と輸出戦略について** 近藤 智昭 (南松浦郡/自由民主党/活正の会)  
 【質問】TPPの水産物への影響をどのように考えているのか。また、今後の輸出戦略についてどのような対策を進めていくのか。  
 【答弁】アジア、サバ、ブリなどの価格の下落や魚離れが想定され、養殖業への影響が懸念される。輸出については、離島で生産される養殖魚を中心に中国や米国向けに拡大を図る。中国や米国向けに11億円から平成32年度までに30億円に伸ばすことを目標としている。

**島原半島の観光振興について** 山本 由夫 (長崎市/自由民主党/活正の会)  
 【質問】27年11月、島原半島ジオパークが認定を受けている世界ジオパークについて、ユネスコの正式な事業に格上げされた。今後どのような取組を行っていくのか。  
 【答弁】地元3市と関係機関との連携をさらに強化し、これまでの島原半島ジオパーク協議会を中心とした取組を引き続き支援するとともに、今後、県としてもジオサイトをめぐるトレイル(山道)等の整備、ジオツアーの多様なプログラムの拡充等を行いたいと考えている。

**交流人口拡大と地域活性化について** 大久保 潔重 (諫早市/愛郷無限)  
 【質問】諫早市でのフルマラソン大会について、開催を望む市民ランナーも多いため、県が一歩踏み出して、前向きに検討できないか。  
 【答弁】諫早市をはじめ、関係者と協議を重ねたが、実施主体、人員体制などの課題が指摘されており、実現には、地域の主体性が重要。県も、関係機関との調整、サポートミッションを通じた支援などの役割を果たすことが可能と考える。地元も動きも注視しながら、今後の進め方について、諫早市と意見交換していきたい。

**知事の政治姿勢 石木ダム事業について** 堀江 ひとみ (長崎市/日本共産党)  
 【質問】26年7月、石木ダム予定地の川原公民館で知事は川棚川の改修が完了すれば過去の洪水は石木ダムなしで流すことができると発言した。地権者は立ち退きに納得できないのは当然だが、それは約50年は事実であるが、それは概ね50年に一度全国各地で自然災害が頻発している状況にあるが、この石木ダムは川棚川が100年に一度の雨にも耐えられる安全性を確保するために必要不可欠な計画として取り組んでいるものか。  
 【答弁】26年7月、石木ダム予定地の川原公民館で知事は川棚川の改修が完了すれば過去の洪水は石木ダムなしで流すことができると発言した。地権者は立ち退きに納得できないのは当然だが、それは約50年は事実であるが、それは概ね50年に一度全国各地で自然災害が頻発している状況にあるが、この石木ダムは川棚川が100年に一度の雨にも耐えられる安全性を確保するために必要不可欠な計画として取り組んでいるものか。

**環境行政について** 麻生 隆 (長崎市/公明党)  
 【質問】浄化槽法定検査について、検査率100%を目指した受検率の向上に検査手数料の引き下げなどの改善指示が出ている。そのような改善指示は出ているのか。  
 【答弁】検査実施状況に対する指導は行っており、平成26年度の受検率は、前年度から4.4%改善し78%に向上している。今後も作業の効率化、受検拒否者対策等により受検率向上を図ることとしており、また、10人槽以下の検査手数料について、平成28年度からの引き下げに向け検討が進められている。

**子どもたちを守る取組について** 山田 朋子 (佐世保市/北松浦郡/改革21)  
 【質問】保育園、幼稚園から小中高等学校卒業まで様々な配慮が必要な幼児・児童生徒に関する情報を確実に引き継ぎ、見守る仕組みの構築が必要ではないか。  
 【答弁】27年3月に設置した長崎県子ども育成総合検討会議で、特別な配慮が必要な子どもへの支援として、子どもを情報で乳幼児期から学齢期へつなぐことが議論されている。乳幼児健診の情報や保育所・幼稚園での情報を引き継ぎ、適切な支援につなげる仕組みづくりに取り組んでいきたい。

**「長崎県若者議会」を開催しました。**  
 平成27年12月12日に長崎県議会が初となる「長崎県若者議会」を開催しました。これは平成27年6月に公職選挙法が改正され、選挙権年齢が20歳以上から18歳以上に引き上げられたことを受け、次世代を担う若者を対象に、政治参加意識の向上を図ることを目的として実施したものです。

県内10校の大学・短大に通う39名の学生が参加し、学生が議員になりきって実際に行動している県議会の運営を模して、議会の運営にかかる協議から本会議、委員会を開催しました。

本会議では、選出された学生議員の進行のもと、各大学・短大の代表者が演壇に立ち、「外国人観光客のニーズに合った観光案内」「空き家活用による少子化対策」「農林水産業の今後の可能性」など、県政に対する様々な政策提言を発表していただきました。

その後、県議会に設置されている総務・文教厚生・環境生活・農水経済の4つの常任委員会に分かれ、学生委員長のもと、学生委員と県議会の各委員会に所属する議員が意見交換を行いました。

委員会終了後に、再度本会議が開催され、学生委員長が、委員会で議論した所感などを委員長報告として発表するとともに、学生代表が、「選挙年齢の引き下げにより、我が国が得た権利を無にするのではなく、選挙を通じて自分の意思を示し、政治に積極的に参加していくことで社会の形成者の一員としての責務を果敢とっていく。」との決意表明を行い、若者議会は終了しました。

参加した学生からは、「今まで政治には全く関心なかったが、今からの日本を支えていくためには、まず政治に関心を持つことが大事だと分かった。」「やがて自分も卒業したら社会人になるので、地域に役立つことをしたい。」「など、意見が寄せられました。」

**注目情報!! ~委員会中継の視聴方法~**  
 インターネット動画サイト・ユーストリームにおいて、委員会中継(ライブ・録画)を配信しています!

- 1 もっと見る 長崎県議会 長崎県議会 検索
- 2 中ほどにある ユーストリーム中継のバナーをクリックする
- 3 視聴方法や注意事項をよく読んで、最後にある下記表示から入る  
○委員会(ライブ・録画)中継はこちら
- 4 視聴したい委員会名をクリックする

**お知らせ**  
 インターネット中継  
 インターネットを利用した県議会中継(生中継・録画中継)を実施しています。  
 ホームページ会議録  
 長崎県議会 検索 会議録全文を掲載しています。  
 掲載内容 ○平成28年2月～27年6月定例会の本会議・常任委員会  
 ○平成24年4月～27年9月分の特別委員会  
 ◎本会議・委員会は、原則としていつでもだれでも傍聴できます。  
 ◎次の定例会は、2月22日に始まる予定です。